

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第388号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2019年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

高校校外活動(高校1年・3年)

スポーツ大会(高校2年)

TOP*NEWS

剣道部 女子団体 関東大会出場決定

柔道部 男子団体 関東大会出場決定

柔道部 女子個人(山口 舞緒さん) 関東大会出場決定



校外活動:BBQ(高3)



校外活動:スポーツ大会(高2)



校外活動:湘南校舎見学会(高1)

2019年度学校運営方針

5月号で掲載した「2019年度の学校運営方針」の実践目標について、今月から数回に分けて詳しく紹介していきます。学校の基本方針や取り組み、授業や行事の様子などは本校HPにも紹介していきますのでご覧ください。

2019年度の「実践目標」

1 「現代文明論」「高校現代文明論」を中心とした教育に努める

- ①知識を自己のものにして、自ら考える力を養い、定着させるようにする
- ②自ら学ぶ目標を定められるよう、主体的な学習の方法を育成する
- ③体験学習を重んじ、得た知識や技術を吟味させることによって創造力を育ませる
- ④討論や発表の場を通し、集団の中で自己表現力を伸ばす
- ⑤現実を直視して、問題を発見し、自らを向上させるため問題解決に努力させる
- ⑥学際的な視野で物事を捉えさせ、国際的な視野での確かな判断ができるような意識をもたせる
- ⑦「明日へのメッセージ-未来を生きる君たちへ-」を活用する
- ⑧我が国のあり方、歴史観や文化に対する認識等を浸透させる
- ⑨「教師のための書き方指導」を活用し、美しく正しい日本語の習得を目指す

東海大学ならではの科目が「現代文明論」です。創立者・松前重義が大学の教壇に立ち、自らの考えを話し始めたのがきっかけとなります。学生に向かって、「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、「思想を培う」ことの大切さを語り続けました。校長講話、副校長巡回授業、集会や各担任によるさまざまなテーマの授業を通して、生徒に考えを深めてほしいと考えています。



4月16日 大学の大讲堂で行われた学校長による第1回現代文明論

第15回 ベストティーチャー表彰(2018年度)

- 中等部タイプA** 田中 亨 先生(英語科)
高校タイプA 和氣 吉秀 先生(数学科)
 吉澤 俊介 先生(国語科)
中・高タイプB 高橋 光太 先生(数学科)

2018年度ベストティーチャー4名の教員が、第47回後援会定期総会の場で、藤方雅志会長から表彰・賞金が授与されました。ベストティーチャー制度は教員のスキルアップを目指し、後援会のご協力により2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業評価アンケートのアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員、保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で後期中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は、中等部タイプAに田中亨先生、高校タイプAに和氣吉秀先生と吉澤俊介先生が、タイプBに高橋光太先生が選ばれました。なお、ベストティーチャーに選ばれると3年間は選考の対象から外れます。



左から和氣先生、吉澤先生、田中先生、高橋先生

学年だより 中1

理想のクラスへ

入学式から2カ月が経ち、学校やクラスに少しずつ慣れてきたようです。各クラスの級長、副級長に「こんなクラスにしたい」という思いを語ってもらいました。学年全員が学校生活を楽しめるような学年やクラスになることを願っています。

A組 学級目標

協力し合えるクラス ～44人のありがとう～

級長 照屋 琉心

自分はこのクラスをまとまりのあるクラスにしたいです。人は一人ではできないことばかりです。困っている人がいればみんなで助け合えたらいいと思います。そのためにもまずはクラスメートと仲良くなり、その次は学年の友達、先輩とつながりを増やしていきたいです。また残念なことにはまだ切り替えが遅い人が多いので、楽しむときは思いっきり楽しめるクラスにしたいです。

副級長 安藤 周平

自分は石のような団結力と楽しく明るくメリハリのあるクラスにしたいです。休み時間と授業中の切り替えがきちんとでき、体育祭などの行事では団結を大切にできればいいと思います。「楽しい・明るい」と「ふざけ」のメリハリも必要です。副級長としてこれから頑張っていきます。

副級長 柿澤 清人

僕は男女仲良くメリハリがあるクラスにしたいです。理由は全員が仲良くなると困ったときに助け合い、行事などクラス全員で取り組むときに士気が高まり、誰も嫌な思いをせずにみんなが笑顔になれるからです。また授業中は全員が静かに集中できる環境を作るために、メリハリをつけていきたいです。

B組 学級目標

平和でメリハリのあるクラス

級長 浅生 蓮

B組の目標は「平和でメリハリのあるクラス」です。これはクラスの全員で決めた目標なので、みんなで目標が達成できるように行動していきたいです。このためにも目標であるように、クラス全員で仲良く、遊ぶときは遊ぶ、やるときはやるというメリハリをつけていきたいです。そして級長として悪いことは注意できるようになりたいです。

副級長 萩森 光希

僕はこのクラスの副級長として、失敗を成功につなげられるクラスにしたいです。失敗することに強く、たくましく、賢くなっていくようなクラスになれば、きっと学校で一番のクラスになると思います。そしてこの学年が終わるころには、他のクラスから慕われるようになりたいです。

副級長 河原 佑興

僕は明るく、元気で、メリハリがあるクラスにしたいです。なぜなら、たまに授業開始に間に合っていない人がいるからです。一人でも遅れる人がいると、全体が遅れてしまい、授業の時間が減ってしまいます。また、いろいろな行事で一番のクラスにしたいからです。普段からみんなが元気で楽しく生活していれば、行事でもみんな協力することができると思います。副級長として、目標のクラスができるように頑張ります。

はたらく消防の写生会(美術)

4月22日(月)晴天の中、今年も東京消防庁主催の「はたらく消防の写生会」に参加しました。大学で2時間かけて制作したペンはどれも気持ちのこもった作品となりました。



一生懸命!



意見交換しながら描いています



暑いなか集中して描きました

学年だより 中2

ゴールデンウィークの思い出

ゴールデンウィークは部活動に精を出したり遠出をしたりと、それぞれ充実した時間を過ごせたようです。2学年の国語では短歌を扱っており、休暇中は「ゴールデンウィークの思い出」というテーマで短歌を詠むという課題が出ました。子どもたちの個性が光る短歌ができました。

A組

連休の高速道路 一目見る
連なるランプは 赤天の川

中石 燎

平成に生まれしいとこそいねする
髪のかおりに いやされし

小林 夢行

目があった 脳裏をよぎるものだから
忘れられない 積まれた課題

高橋 真凜

新しい年号変わる その時に
姉と手をとり ジャンプする

笠原 花心

バスケット練習中の太陽が
ギンギラギンギと笑っている

永岡 和

おれは今家という名の てんごくに
神様のようひとりにくつろぐ

森内 健史

B組

キーパーを ボールがすりぬけ ゴールする
試合終了 万歳三唱

松脇 努和

天気予報 旅行の前に聞いておき
また聞いておく 次の日の朝も

藤井 龍太郎

もう五時半 まだまだたくさんねたいけど
さいたまグラウンド ぼくを待つ

種村 堅太郎

こどもの日 大空泳ぐこいのぼり
ビル風を受けきれいに泳ぐ

天野 琉葦

せつかくの 九連休にもかかわらず
私はいつも ナマケモノ

福島 瑠那

打楽器のほこりをはらいラック押す
カタカタゆるゆるカタカタひびく

藤崎 葵

学年だより 中3

各クラスで、級長と副級長を中心に話し合い、クラス目標を決めました。また、各クラスの級長と副級長が集まり、学年目標を決めました。学年目標とクラス目標を達成できるように、残りの中等部生活1日1日を大切に過ごしてほしいです。

学年目標 青連 秩助 皆で秩序を保ち助け合い、青春を過ごす

A組

- 級長：小泉 萌花(後列)
- 副級長：石川 大耀(前列右)
- 副級長：伊藤 正宗(前列左)



B組

- 級長：上杉 彩華(中央)
- 副級長：江頭 一華(左)
- 副級長：小金井 駿(右)



学級目標

前期：3年A組 今から皆さんは、アオハルです
後期：3年A組 今から皆さんは、青写真期間です

A組級長 小泉 萌花

前期の目標をこれに決めた理由は、体育祭をはじめとするさまざまな行事を、クラスメート全員で一度きりの“青春”を最高の思い出にしたいからです。だから「アオハル」という言葉を選びました。

後期の目標の「青写真期間」というのは、将来の構想や計画を立てる期間という意味です。最終学年としての自覚を持ち、少しずつ将来の夢の計画を立てていくというのが目標です。

クラス全員で団結し、いいクラスにしていきたいです。



A組の様子

学級目標

自由かつ真面目なクラス

B組副級長 江頭 一華

私たちのクラスの目標は「自由かつ真面目なクラス」です。この目標の自由とは、好き勝手にする「自由」ではなく、物事を自分自身で考え、行動するという意味です。真面目はそのままの意味で、授業や学校行事に真面目に参加するという意味です。自由と真面目は一つ一つだと簡単に見えることだけど、3年B組はそれを一人ひとりが実行できるクラスにしたいという意味からこの目標にすることに決めました。

厳しいことも、みんなで協力して成し遂げられるクラスにしていきたいと思います。



B組の様子

食堂での様子



おしゃべりしながら



おいしい食事で笑顔になります!



食べ盛り! モリモリ食べます!

学年だより 高1

クラス目標

高校になってはや2カ月が経過しました。

今回は、高校生活最初の1年を爽りあるものにすべく、各クラスに目標を設定してもらいました。ここに紹介します。

1組 共支夢奏(キョウサムソウ)

級長：田村 莉緒
副級長：越智 有咲・杉原 碧

クラス目標の意味は、「共に支え合って夢を奏でよう」です。クラス一人ひとりが高校生としての自覚を持ち、勉強や部活動、遊びのメリハリをつけ文武両道を目指す。クラス全員の持つ夢を尊重し、その夢をみんなで応援でき、思いやりのあるクラスにしたいと思います。(文：田村 莉緒)

2組 常笑気流

級長：矢内 優奈
副級長：木村 裕太・中嶋 柚羽

私が中学生の時のクラスは笑顔に溢れていて、毎日がとても楽しいクラスでした。そのため、この1年2組も常に笑顔が溢れ、みんなで支え合えるクラスにしたいなと思い、このクラス目標を考案しました。(文：佐藤 真流)

3組 三組最強～楽愛革命～

級長：椎名 萌
副級長：池田 一平・岡部 雄太

1年3組はいつも元気です。席が近い人や気が合う人と盛り上がっています。クラス目標「三組最強～楽愛革命～」3組全員で最強のクラスを作っていくために、これからは多くの人と元気で楽しい日々を重ねていきたいです。3組は空前絶後の最強のクラスを作ります。(文：新田 菜月)

4組 報恩謝徳

級長：工藤 萌依
副級長：大島 脩椰・山崎 寛太

自分を丈夫に産んでくれて、この高校に入学させてくれた親への恩。わかりやすく授業をしてくださる先生方への恩。毎日楽しくお話ししてくれる友達がたくさんいるという恵み。これらの受けた恵みや徳に対して、恩返ししようという気持ちを全員が持っているクラスにしたいです。(文：工藤 萌依)

5組 愉快活発

級長：武藤 拓磨
副級長：井上 莉音・生方 杏子

1年5組は、まじめにやるときはやる、楽しむときは楽しめる、けじめのあるクラスで高校生活をスタートしたいです。そのためにクラス全員で何事にも一生懸命取り組みます。そして楽しく居心地のいいクラスにしたいです。(文：井上 莉音・生方 杏子)

8組 百華繚乱

級長：永倉 秀
副級長：沖胡 葵・橋本 京樹

私たち8組はとても仲が良く、休み時間と授業中でしっかりと切り替えができるクラスです。個性豊かな人が集まるクラスなので、すれ違いもあると思いますが、今年一年間で一人ひとりの花を咲かせ、楽しいクラスにしていきたいです。(文：永倉 秀)

7組 青狂詩曲(ブルーラプソディ)

級長：宇山 颯人
副級長：入江 菜摘・中山 要

青(青木先生・青春)、狂詩曲(それぞれが明るい雰囲気)という意味でこのクラス目標になりました。私は困っていたらお互いに助け合える心優しいクラスにしたいです。さらに授業にも集中して良い雰囲気です学校生活を送れるようにしたいです。また、建学祭や体育祭などの学校行事にも級長の僕をはじめとし、クラスメートや担任の先生とも協力して最高の1年にしたいと思います。(文：宇山 颯人)

6組 雲魔結色(うまげっしょく)

級長：福島 直樹
副級長：柿沼 星愛・平川 ひなの

みんなの夢を叶えられるクラスにしたいです。夢といっても将来の夢などの大きなものではなく、皆勤やクラスのみんなど仲良くなるなどといった小さな目標みたいなものを、一年間かけてみんなが達成できたらいなと思います。(文：福島 直樹)

10組 輝笑添結

級長：石井 義之
副級長：塚田 大翔・山本 真矢

私はこのクラスをとても活気のあるクラスにしたいです。そのため、楽しいときは楽しみ、やるときはちゃんとやるスイッチのONとOFFのはっきりした生活を続けていきたいと思っています。(文：石井 義之)

9組 笑顔爛漫

級長：鈴木 日和大
副級長：節政 杏里紗・田上 陽葵

なぜ笑顔爛漫かという、一年中クラスに笑顔が絶えないクラスにしたいからです。そんな私たちのクラスは目標の通り笑顔が一年中絶えず、楽しく明るくメリハリのあるクラスにしたいです。(文：鈴木 日和大)

学年だより 高2

スポーツ大会

5月8日(水)に第2学年スポーツ大会が行われました。雲一つない晴天に恵まれ、どのクラスも団結して精いっぱい取り組んでいました。競技や応援を通して、クラスがまとまった1日となりました。

★総合優勝：1組 ★準優勝：2組 ★3位：3組・8組

1組 大鐘 遥

昨年度は一つも賞が取れずとても悔しい思いをしました。今年度は1位2つ、2位1つで、総合優勝できたのが嬉しかったです。冬のスポーツ大会でもクラス一丸となって総合優勝できるように頑張りたいと思います。

3組 日高 継実

2年生最初の行事は、晴天に恵まれ、全員が顔を真っ赤にして取り組んでいました。自分のクラスは優勝することができなかったけれど、3組の絆が深まり、優勝以上に素晴らしいものを得ることができました。

5組 小林 秀俊

今日は、2年生へ進級し初めての大きな行事でした。どの競技も優勝を目指して頑張りましたが、どの種目も良い結果を残せず、リレーも9位でした。でも、お互いに応援し合い、笑い合い、このスポーツ大会を終えることができて良かったです。

7組 栗田 まいか

クラスの距離がとて縮まったスポーツ大会になりました。特にリレーではクラスが替わり、慣れない環境の中でクラス一丸となり、誰もがやってよかったと笑顔で終われたと思います。今回の結果を生かして次は優勝を目指していきたいです。

9組 高橋 優

今回のスポーツ大会は僕にとって大切な行事になりました。なぜなら、クラスが替わってからあまり話さなかった人と競技を通して関わる機会になったからです。また、他のクラスの人とも競技などで関わるのができ、有意義な時間になりました。

2組 戸井田 航

4月から新しいクラスで活動し、今回のスポーツ大会が初めての行事でした。全員が優勝に向かって頑張り、結果は惜しくも準優勝でしたが、みんな楽しそうにやっていたのでよかったです。この悔しさをバネに次のスポーツ大会は2組が優勝します!!

4組 滝沢 広輝

「経験がものをいう」といいます。一度経験したものは、次の機会はより一層楽しくしようとするものです。今回のスポーツ大会は去年よりも格段に楽しかったと感じています。つまり、来年はもっと楽しいということです。誰かが楽しめている時は、誰かが裏で頑張っています。さまざまな人に感謝して、来年はさらに楽しくしたいと強く思います。運営に携った方々、ありがとうございました。

6組 石井 海輝

6組は静かでおとなしいクラスだと思っていたが、そんなことを感じさせないくらいに元気に楽しく競技ができたと思う。しかし優勝できなかった悔しさが残っているので、クラスの絆をもっと深めて、いつか必ず優勝したい。

8組 落合 彩羽

クラス替えをして初めての行事。男女共に応援し合い、総合3位という結果を掴み取ることができました。女子サッカーに関しては優勝することができました。次のスポーツ大会に向けて、もっとクラスの仲を深め、団結して頑張りたいと思います。

10組 田部井 可惟

私はリレーのみに出場しましたが、サッカーなどに励むクラスメートの姿を見て勇気づけられ、ベストを尽くそうと走りました。自分が走った後も、走るクラスメートを待機場所で追いかけ、応援し続けました。ピリではあったけれど、みんなでベストを尽くせたのでよかったです。



学年だより 高3

春の訪れとともに、元気いっぱいこの学年も無事に進級をしました。昨年度から一緒に過ごしてきた仲間たちと新たな気持ちで過ごしていくこの一年間、どんなクラスに作り上げていきたいかという思いを、各クラスの級長さんに語ってもらいました。どうぞご覧ください。

1組 こんなクラス!!

豊田 隼

3年1組は、笑顔あふれるにぎやかなクラスを目指しています。1組は個性の強い人が多く、しかし、メリハリもあるけじめのついた、エネルギーあふれるクラスです。このクラスの特徴を卒業まで大切にして過ごしていきたいです。



2組 忘れない思い出のために

鈴木 直人

私たち2組は、この高校生活最後の1年を全員が楽しいと思うクラスにしていきたいです。そのために46人でひとつの雰囲気を作り、しっかりとメリハリをつけていきたいと思っています。一年後、全員が楽しいと思うクラスだったなと思えた時、一生忘れない思い出になることでしょう。



3組 卒業まで元気で明るく

奥友 雄大

私たち3年3組は2年生の頃から元気で明るいクラスです。学園基礎学力定着度試験を終え、気持ちが緩みがちですが、授業の時は切り替えて、体育祭などの行事には全力で取り組み、今まで通りの元気で明るいクラスにしたいと思います。



4組 新たなスタートライン

後藤 更紗

昨年に引き継ぎ、また、新たな3年4組として元気にスタートしました。昨年度は出席数も入院や病気で長期出席できなかった人がいたわりには、学年で一番多かったと聞きます。今年度も病気などに負けず、4組らしい元気な姿で卒業まで走り抜きましょう!



5組 UCN45

小貫 満里奈

昨年度はクラスみんな仲が良く、にぎやかで和気あいあいとしたクラスでした。その反面、休み時間と授業との切り替えができなかったり、チャイム着席ができなかったりと反省点も多くありました。今年度は、良い所を生かし、しっかり切り替えのできるクラスを目指します。



6組 三の六組

長尾 優祐

3年6組は、明るく元気なクラスです。これからもこの印象を崩さず継続していくのと、卒業するまでこの48人全員で笑って卒業することのできるクラスにしたいと思います。新也先生を中心に残りの一年間を過ごしていきたいです。



7組 最後の1年

石橋 光

今年度は私たちにあって、高校生活最後の年になります。だから、3年7組の全員で良い思い出を作り、何年後かに再会しても昔に戻ったように笑い合える仲の良いクラスにしたいと思います。クラス全員でさまざまな行事に一致団結して頑張っていきます。



8組 実は人見知り

二木 桜子

私たちのクラスは、明るいクラスです。新しい教科担任の先生とも打ち解けて、少しずつ気が抜けてしまっている気がします。だから、3年8組に「何事も全力で相手を思いやるクラス」になってほしいと思います。



9組 目いっぱい楽しもう!

加藤 涼介

私たち3年9組は、持ち前の元気と明るさで毎日楽しく学校生活を送っています。しかし、その元気が裏目に出てしまい、先生方に注意を受けてしまうことがあります。今年度は「メリハリ」をしっかりつけ、有終の美を飾れるよう、頑張りましょう!



10組 多様性

松下 啓樹

10組の目標は相手を理解し、それを楽しむことです。今後生きていく中で、さまざまな考えを持つ人と深く交流を持つ機会は高校生活が最後です。この貴重な機会を無駄にせず、自分の人生の糧とできるように友人と語り合ってください。



憲法記念講演『基本的人権と子どもの人権救済活動』



5月3日の憲法記念日にちなみ、高校1年生を対象とした「憲法記念講演」が本校アリーナで開催されました。恒例行事となっているこの講演は、ホームルーム活動の時間を延長して行われているもので、今年は4月25日(木)に実施されました。講演では、弁護士の方畑智砂先生から弁護士としての仕事の内容や基本的人権についてのお話の後、学校でのいじめやさまざまな虐待などの被害にあっている子どもたちの実情や、先生自ら出演されている自立援助ホームでの活動の様子についての演劇映像なども交えてお話しをしていただきました。今回の講演を通して、「人権」について考える良い機会になったのではないかと思います。

人権を守り、守られていくこと

1年2組 本島 蒼士

私にとって、今回の講演は憲法というものの重要性、そして憲法を含めた世界に存在している「ルール」を守ることの大切さを改めて確認するいい機会になった。

また、人権というものについても今までよりも深く、真剣に考えるきっかけになった。自分自身、憲法や人権は自分たちが生活していく上でいつもそばにあり、常に近くにあるものだと思っていた。特に人権というものは私たちが生まれた瞬間から誰しもが持っているものだとということもあって、今まで生活してきた中でよく耳にする言葉だった。

しかし、それは耳にしているだけで自分は、「人権」というものはどのようなものなのか全く理解できていなかった。そんな時今回の講演を聞いて、人権はこの世にいる誰もが持っているもので、「皆が幸せになるための権利」だということを理解した。また一人ひとりが人権というものの『重要性』や、その裏側にある『恐ろしさ』をよく理解し、人権を守り守られていくことによって、いま世の中に多数存在する『いじめ問題』や『児童虐待』、そして『多くの犯罪』がなくなっていくということなど、非常に大切なことを知ることができた。

私は今回の講演で学んだこと、改めて知ったことを決して忘れることなく、家族や友人などのいろいろな人に伝え、共有し、犯罪やいじめのない、楽しく安心して暮らせるような生活を送っていきたい。

今に感謝

1年8組 弘田 将也

僕は今回の話を聞いて、どんな人だろうが子どもでも、全ての人が生まれながらにして権利を持っていることがわかりました。

今回の話で印象に残ったことが2つありました。1つ目は、人権は大切ということです。中学生の時に人権について勉強しました。その時はあまり人権について興味を持っていませんでした。しかし今回の話で、世の中には自分のことを自分で決められない子どもたちもいるということがわかりました。どんなにやりたいことがあっても、家庭によってはできない子がいたりすることがわかりました。そして、今の自分は贅沢だなと思いました。だから、今できることに一つ一つ感謝してどんなことでも当たり前、常識と考えないで、今こうやって生活ができたというのはとても幸せだということをお忘れなく生活していきたいです。

2つ目は、どんなにつらくとも簡単に命を落としてはいけないということです。今回のお話でもあったように、自殺するか迷ったというセリフがありました。死んでも何も変化はないということ、それがはっきりとわかりました。

これからは、悩んでいたりする人がいたら話を聞いて、その人に寄り添っていきけるようにしていきたいです。

衝撃を受けた「子どもの人権」

1年3組 山田 貴大

私が「子どもの人権」に対して抱いていたイメージは、虐待についてのことが多いのだろうということです。講演を聞くと、やはり虐待についての事柄が多かったのですが、私が思っていた以上に細かく定められていて衝撃を受けました。しかし衝撃を受けると同時に疑問も浮かんできました。それはなぜこのように細かに定められているのに、虐待や性的暴行のニュースは今になっても後を絶たないのか、という疑問です。

細かく子どもの人権に対していろいろ決めても、結局子どもの受けている被害が減らないのであれば、それは意味のない法律ともいえてしまいます。だからこのような講演などで、実際に身のまわりでこういう虐待が起きているということを、被害者になってしまうかもしれない子どもたちに再認識させることは、子どもの人権についてたくさん決めるよりも、より効果的に被害を減らすことを可能にすると思います。

今回の憲法記念講演で見た、菜月さんのビデオは、とても心に残りました。彼女は両親が離婚し、さらに新しくできた母親の彼氏に性的虐待を受けていました。そして「あいつに汚されるなら金がもらえた方がいい」と援助交際にも手を染めてしまいました。彼女は施設で保護をしてもらい、さまざまな壁にぶつかりながらも必死に生活していました。中でも、施設に母親が訪ねてきた時の悲痛な叫びは衝撃を受けました。

今回の講演で子どもの権利について改めて考えさせられるとともに、自分はこのようなにならないように気を付けようと思うことができました。

「守る」

1年10組 宮澤 慎之介

僕が憲法記念講演を聞いて印象に残ったことは3つあります。

1つ目は、人権侵害というものは自分たちが思っているよりも身近にあるということです。自分たちが見えていて何気ないと思っていたことが、本当はあってはならないことだというのがよくわかりました。そして、自分たちは何にも知らないのだなと驚愕させられたからです。

2つ目は、いじめなどで困ったら相談できるという「相談電話」が親身になって話してくれているということです。そういうものは、担当者が適当に話を聞き、ただの他人事のように扱っているのではないかと、僕は疑っていました。けれど、弁護士さんの話を聞いていくと、まるで自分のことのように捉えてくれているということがわかりました。

3つ目は、人権というものが人々の幸せに関わっているということです。もし人権がなかったとしたら、奴隷制度ができていたり調和が乱れてめちゃくちゃになってしまいます。しかしこれが起こらないのは、人権というもので調和をとっているということです。人権は人々の幸せに関わっているというのがとても伝わってきました。

「権利」というものは、人々の自由を縛っているあまり好ましくないものだと最初は考えていました。しかし実際は受けることができるもので、日々助けられているものでした。「人権は自分自身のもの」として、よく理解していく必要があるなと思いました。

SSH活動報告

核融合科学研究所主催の科学体験イベントで企画の運営に協力(5月3日/日本科学未来館)

「Fusion フェスタ in 東京 2019」において、SSH委員14名が「ヤングサイエンティストによる企画展示」などを担当しました。



2年10組 阿島 里穂

私たちはFusionフェスタに来場した小学生を対象に、科学に関する体験活動をしました。今年の高輪台はペットボトル顕微鏡の作成を行いました。また核融合エネルギーの講座でTA(ティーチングアシスタント)として活動した生徒もいます。会場では穴の開いたペットボトルのキャップにレンズとなるガラスビーズを埋め、オオカナダモを観察しました。今回作った顕微鏡では細胞壁があることを確認することができました。この一連の作業を行ってもらう際に、虚像やレーウエンフック、細胞の説明など、各々課題を考え、接客にあたっていました。高輪台ブースに来られた来館者は250人以上だと考えられます。筆者の予想よりも多くの方に足を運んでくださったことをありがたく思っています。

また、本校以外にも多くのSSH指定校が出展していました。今日のFusionフェスタでは多くのものを得ることができたと思います。

町内で出張科学教室を開催(5月4日/高輪二本榎町会会館)

物理化学部員14名が子ども対象の科学教室を実施し、地域の科学振興に寄与しました。また、1日限定のミニラジオ局「Takanawa FM 88.0MHz」を開設し、SSH活動についてPRしました。



2年10組 田村 悠貴

今回、地元の自治会館で物理化学の科学教室を行いました。また、1日限りのミニラジオ放送をさせてもらい、いろいろな方々にSSHや物理化学部の活動について知っていただくことができました。

科学教室では、空気圧による風船とペットボトルの変化についての体験や、ペットボトルのふたで顕微鏡を作ってもらい、科学のこことにより興味を持ってもらうことができよかったですと思います。もう一つのラジオ放送では、SSHではどのような活動をするのか、またどのようなことが学べるのかということについて、参加したメンバーと意見を出し合ったことをリスナーの皆さんに聞いていただきました。今回の放送を通して、いろいろな方々に我が校の3年間の行事の様子やSSHの充実した内容を伝えることができました。また自分もSSH活動や部活動の良いところや反省すべき点を振り返ることのできる良い機会になったと思います。

SSHクラス1年生が大学を訪問(5月8日/湘南キャンパス)

19号館にある高度物性評価施設を見学し、長谷川真也先生(工学部准教授)による特別講座を受けました。



1年10組 佐藤 大知

今回見学した動力機械工学科には世界トップレベルの実験環境があり、最先端の科学技術を使用して詳しく研究をすることができることは素晴らしいと思った。また、学生も研究のためであればそれらの施設を自由に使用することができること聞き、このような環境で多くのことを学びたいと思った。また、特別講座で説明を受けた「熱音響機関」は、熱エネルギーを音に変化させてその音で100℃くらいあったものをマイナス20~30℃まで冷却したり発電したりするという研究だったが、実用化が進めば火力発電の代わりになる電力を生み出すことができると聞き、エネルギー問題を解決できる可能性を秘めていると思った。

研究内容を実際に聞くというとても貴重な体験をさせてもらうことで、大学でどのような研究をしようかという思いを持つことができた。僕も将来、人のためになるような研究ができるように頑張っていきたい。

海外連携校とのオンラインセッションを実施(5月14日)

インターネット回線を利用してロシアのガスプロム教育センターとビデオ電話をつなぎ、お互いの研究成果を発表し合いました。



3年10組 澤田 強希

今回Gazprom教育センターとの交流で数多くのことを体験できましたので、その一部である英語について触れたと思います。単に、語彙力、言い回しが増えたこともありますが、そのほかに普段の英語では知り得ない発表ならではの、「英語でのスライドの作り方」「相手に要所を的確に伝えるための抑揚」などを学ぶことができました。また、実際に日本語圏ではない人と英語を使って発表・質問することで、今の自分の英語力でどれほど意思の疎通ができるのかを確かめる良い機会になりました。また、発表の内容を見返し、より正確に伝える方法を模索するという英語とは別の面での利点もありました。

最後になりますが、今回の発表にあたって、相手校の生徒の皆様、および教職員の皆様、発表の設営、連絡、訂正、その他多くの点で私たちのこの機会のためにご協力くださった教職員の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

SSH活動速報

5月 11日~ サイエンス基礎

5月 14日 高校現代文明論

5月 17日 アカデミックプレゼンテーションII

5月 23日 キャリア教育

5月 25日 サイエンス基礎

5月 27日 課題実験

5月 31日 アカデミックプレゼンテーションII

5月 31日~ 公共科学論

実験数学「正多角形のひし形分割を利用したロゴマーク作成」の実施(全2回)

知的財産尊重教育の開始(全2回)

What is a Debate?

雪印メグミルク(株)他3団体による出前授業の実施

日本科学未来館訪問で学習した内容をまとめるプレゼンテーションの実施

個別実験(テーマ設定、先行研究調査)の実施

Using sources, research/collaboration time

数学科教員によるユニット授業「科学と数学と公共」の開始(全3回)

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月20日(木)～25日(火) 5泊6日

研修旅行は高校生活のメインイベントのひとつです。良い旅行には良い準備が欠かせません。実りある研修ができるように願っています。

- カナダホームステイコース・研修コース ○ハワイ研修コース
- サンフランシスコ研修コース ○北海道コース ○沖縄コース

研修旅行期間中、高1・3、中等部は4時限授業(特別時間割)になります。

第11回中等部体育祭

中等部 **1・2・3年**
6月21日(金)

芸術鑑賞

中等部 **3年**
6月22日(土)

スポーツ大会

高校 **3年** 本校アリーナ

6月24日(月)

高校 **1年** さいたま総合グラウンド

6月25日(火)

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(土) 朝礼 短縮授業 高輪会総会
- 2日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(中等部)
- 3日(月) 2時限授業 前期中間試験答案返却(3時限目以降)
- 4日(火) 校医相談日③
- 6日(木) 学年集会①(中3) 学年集会(高3)
生徒総会(7時限目)
- 12日(水) 専門医によるカウンセリング②
- 13日(木) 学年集会②(中2) 学年集会②(高2)
- 15日(土) GTEC①(高校) 後援会学年懇談会
- 16日(日) 受験なんでも相談会(新宿NSビル)
- 20日(木) **研修旅行(高2:カナダ、ハワイ、サンフランシスコ、北海道、沖縄 ～25日)**
4時限授業(特別時間割:高1・3、中等部)
- 21日(金) **第11回中等部体育祭(さいたま総合グラウンド)**
4時限授業(特別時間割:高1・3)
- 22日(土) 4時限授業(特別時間割:高1・3、中1・2)
芸術鑑賞(中3)
- 24日(月) **スポーツ大会(アリーナ:高3)**
4時限授業(特別時間割:高1、中等部)
- 25日(火) **スポーツ大会(さいたま総合グラウンド:高1)**
4時限授業(特別時間割:高3、中等部)
- 26日(水) 生徒休業日(高2)
6時限授業(特別時間割:高1・3、中等部)
- 28日(金) 塾教員対象学校説明見学会
- 29日(土) **水泳実習①**

- 1日(月) 朝礼 短縮授業
- 2日(火) 校医相談日④
- 7日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(中等部)
- 12日(金) 漢検①(希望者)
- 14日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(高校)
- 15日(月) **海の日**
- 17日(水) 月曜日の授業
第51回剛健旅行開会式(7時限)
- 18日(木) **第51回剛健旅行(嬬恋高原研修センター周辺:～19日)**
- 20日(土) 2時限授業
剛健旅行閉会式
夏期休暇前諸注意(3時限)・大掃除、HR(4時限)
- 22日(月) SSH科学体験学習旅行(～24日)
- 31日(水) 学園オリンピック文化部門
[国語、数学、理科、英語、芸術(造形)、知的財産、ディベート]
(嬬恋高原研修センター:～8月5日)

編集後記

早いもので今日から6月、今年も半分が過ぎようとしている。新たな年を迎え、別れと出会いの中で新学期が始まり、そして5月、令和の時代が幕明けた。慌ただしさの中で、あっという間の5カ月だったように感じる。22日は夏至。北半球ではこの日が一年のうちで昼の時間が最も長くなる。一番短い冬至の日と比較すると実に4時間49分も昼の時間が長くなる。夏至を過ぎると本格的な夏の到来だ。とはいえ、これから梅雨の季節となりジメジメと鬱陶しい日々が続くが、移り行く季節の風景を楽しみながら過ごしてみたいかがでしょうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>